

## 環境仕様

基本情報	車名・通称名		ホンダ・CBR600RR		
	乗車定員(名)		2		
	車両型式		2BL-PC40		
	エンジン	型式	PC40E		
		総排気量 (cm <sup>3</sup> )	599		
		種類	水冷4ストロークDOHC4バルブ直列4気筒		
		使用燃料	無鉛プレミアムガソリン		
		最高出力 (kW[PS]/rpm)	89[121]/14,000		
		最大トルク (N・m[kgf・m]/rpm)	64[6.5]/11,500		
	駆動装置		変速機		
車両重量 (kg)		194			
備考		-			
環境性能情報	燃料消費率*1 (km/L)	国土交通省届出値:定地燃費値*2(km/h)		23.5(60km/h)(2名乗車時)	
		WMTCモード値*(クラス)*3		17.3(クラス3-2)(1名乗車時)	
	排出ガス	適合規制レベル		平成28年規制に適合	
		WMTCモード規制値 (g/km)	CO	1.14	
			HC	0.17	
			NOx	0.09	
	参考	エンジン改良 二次空気供給装置 三元触媒(モノリス) シールド式ブローバイ・ガス還元装置 燃料蒸発ガス抑止装置 車載故障診断装置			
	騒音	適合規制レベル		平成28年規制に適合	
		加速騒音規制値 (dB)		国連協定規則第41号第4改訂版による。	
		参考		-	
環境負荷物質削減	鉛*1	自工会2006年目標達成済(60g以下)			
	水銀*2	自工会目標達成済			
	六価クロム	自工会目標達成済(2008年以降使用禁止)			
	カドミウム	自工会目標達成済(2007年以降使用禁止)			
	※1 平均的乗用車の鉛使用量は1850g(バッテリーを除く) ※2 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメータ、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯)				
環境への取り組み	リサイクル  1992年から新規開発機種ごとに3R事前評価システムに基づいてチェックを実施し、その向上を図っています。また、可能な限り小さな樹脂部品にまで材料名表記を実施しています。				

■国土交通省届出値を記載。(★の項目はHonda公表諸元)

■排出ガス - 適合規制レベル

排出ガス適合規制レベル(国土交通省の許可を取得した規制値)と走行モード(二輪車モードまたはWMTCモード)に基づく規制値を記載。

規制名称または規制開始年を記載。

■騒音 - 適合規制レベル

適合規制レベルとして加速騒音規制値を記載。

\*1. 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。

\*2. 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。

\*3. WMTCモード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます。

### 燃料消費率の表示について

WMTCモード測定法で排出ガス試験を行い型式申請した機種は従来の「定地燃費値」に加え、「WMTCモード値」を記載しています。エンジンや排出ガス浄化システムなどが同じシリーズ機種においては、定地燃費値が異なってもWMTCモード値が同一の場合があります。これは、型式申請時の排出ガス試験においては、排出ガス中の規制物質の排出量が多量な機種により試験を行い届け出をしており、この試験結果にもとづきWMTCモード値を計算し、シリーズ機種それぞれのWMTCモード値としているためです。WMTCモード値については、日本自動車工業会ホームページ(<http://www.jama.or.jp/motorcycle/>)もご参照ください。

※本仕様は予告なく変更する場合があります。

※この環境仕様書は2020年8月のものです。